

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市伏見区深草正覚町マンション計画	階数	地上5F
建設地	京都市伏見区深草正覚町7-3の一部、32-8	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	248 人
地域区分	6地域	年間使用時間	24 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 0.0	評価の実施日	2019年2月20日
敷地面積	2,684.97 m ²	作成者	西村謙司
建築面積	1,495.07 m ²	確認日	
延床面積	5,489.57 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	14%
③上記+②以外の	112%
④上記+	112%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
総合 敷地の四周に緑地を配置し周辺環境に配慮した。		その他 特になし
Q1 室内環境 断熱等級3を確保し住環境の快適さに配慮している。	Q2 サービス性能 各住戸バルコニーに掃除用流し設置した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の四周に緑地を配置した。
LR1 エネルギー 太陽光発電設備、LED照明機器を積極的に採用する等、エネルギー効率の良い設備計画とした。	LR2 資源・マテリアル 住戸の壁・天井下地に地域産木材を使用する。	LR3 敷地外環境 地表面、屋根面の緑化により蒸散効果に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される